

科目	専攻科ゼミナールI (Advanced Course Seminar I)		
担当教員	山下 典彦 教授, 酒造 敏廣 教授, 橋本 涉一 教授, 辻本 剛三 教授, 柿木 哲哉 准教授, 宇野 宏司 准教授, 上中 宏二郎 准教授		
対象学年等	都市工学専攻・1年・前期・必修・2単位		
学習・教育目標	B4(40%) C2(60%)	JABEE基準1(1)	(d)2-a,(d)2-b,(d)2-c,(e),(f),(g)
授業の概要と方針	専門工学に関連する外国語文献を輪読する。担当部分について、その内容を説明し考察を述べるとともに討論をゼミナール形式で行う。幅広い工学分野の新しい学識を得るとともに、関連する文献を調査することにより最新技術や研究の手法について実践的に学ぶ。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【B4】都市工学関連の英文文献を読み、その内容を理解し、日本語で説明できる。		都市工学関連の英文文献の内容について、日本語で説明したレポートで評価する。
2	【C2】専門分野の問題に関連する英語の文献を調査し、その内容を発表することができる。		専門分野の問題に関する英語文献を調査、発表させ、資料として作成したレポートで評価する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、レポート100% として評価する。各担当教官による評価点を平均して評価する。100点満点の60点以上を合格点とする。		
テキスト	プリント		
参考書	プリント		
関連科目	都市工学全般		
履修上の注意事項	都市工学実験実習、卒業研究：都市工学に関する調査、分析手法など基礎的な知識を必要とする。		

授業計画 1 (専攻科ゼミナール)

回	テーマ	内容(目標, 準備など)
1	Coastal Engineeringに関する英文文献の読解	内容の解説をさせる。
2	Coastal Engineeringに関する英文文献の読解	内容の解説をさせる。
3	Coastal Engineeringに関する英文文献の読解	内容の解説をさせる。
4	Theory of Elasticityの原書輪読	輪読し, 内容の解説をさせる。和訳レポートを次週までに提出させる。
5	Theory of Elasticityに関する英文文献の調査と発表	文献の概要を発表させる。
6	Effects of Urban Land Use on Surface ...の輪読	市街地の土地利用と地表面温度に関する英語文献を輪読し, 解説させる。
7	Effects of Urban Land Use on Surface ...の輪読	市街地の土地利用と地表面温度に関する英語文献を輪読し, 解説させる。
8	水環境に関する論文の輪読	水環境に関する文献を輪読し, 内容の解説をさせる。
9	水環境に関する論文の輪読	水環境に関する文献を輪読し, 内容の解説をさせる。
10	Analysis of Nonlinear Structural ...の読解	英文文献を読解することで, 不規則な外乱を受ける構造物の動的応答を解析する数値積分法について学ばせる。
11	Analysis of Nonlinear Structural ...の読解	英文文献を読解することで, 不規則な外乱を受ける構造物の動的応答を解析する数値積分法について学ばせる。
12	Concrete Structure に関する文献の読解	内容の解説をさせる。
13	Concrete Structure に関する文献の読解	内容の解説をさせる。
14	Ecological Researchに関する英文文献の読解	文献を読んで, 内容解説をさせる。
15	Ecological Researchに関する英文文献の読解	文献を読んで, 内容解説をさせる。
備考	本科目の修得には, 60 時間の授業の受講と 30 時間の自己学習が必要である。 中間試験および定期試験は実施しない。毎回英和辞典を持参すること。	